



三塁側アルプスで後輩たちを見守る、（左から）大杉諒暢さんと櫻田匠さん＝12日、甲子園

12年夏の準Vメンバー 大杉さん

「自分たちを超えて」

八学光星応援団が陣取った三塁側アルプスには、歴代OBも多数集結。緊迫した試合展開の中、勝利を願って最後まで後輩たちを鼓舞し続けた。

2012年夏の準Vメンバーで、当時主力だった大杉諒暢さん（24）は現在、愛知県内の実業団チーム・王子の現役選手。「光星には甲子園を夢見て遠くから来ている子もいる。相当の覚悟を持って努力してきたはずだ」とナインに目を細める。激戦を制したナインには「このままの勢いで勝ち進み、自分たちを超えて優勝してほしいね」と、日本一への夢を託した。

当時のチームで応援団長を務め、現在は神戸市在住の櫻田匠さん（24）の姿も。櫻田さんは「ナイフゲームの一言。次も持ち前の打力を発揮してくれば」と、さらなる活躍に期待を寄せた。

（上村公悟）